

エコアクション21

環境活動レポート

2019/4～2020/3



株式会社 中西

認証・登録番号 0001581

2020年4月17日発行

目 次

環境理念・環境方針		1
組織の概要		2～6
1、事業者名及び代表者名	}	2
2、事業所名及び所在地		
3、環境管理責任者連絡先		
4、事業の概要		
5、事業規模		
6、エコアクション21の対象範囲、 環境活動レポートの対象期間及び発行日		
7、EMS実施体制		3
8、事業活動に関する許可、登録の内容		4
9、運搬車両の種類と台数	}	5
10、中間処理設備の概要		
11、受託した一般廃棄物、産業廃棄物等の量	}	6
12、事業計画の概要		
13、廃棄物処理料金		
環境目標		7
環境活動計画		8
環境目標の実績		9～14
環境活動計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容		15～16
今年度のトピックス		17
環境関連法規等の遵守状況について		18
代表者による全体の見直し		19
環境活動レポートの公表、情報開示		20
過去の取組の特記事項		21～28

『 環 境 理 念 』

株式会社中西は、「人にも環境にも優しく」をモットーにリサイクル業を推進すると共に、知的障がい者の雇用を積極的にすすめています。「リユース、リサイクル」という言葉がまだ浸透していない頃より、「捨てればごみ、生かせば資源」を合言葉に啓発活動を行なってきました。その理念は今も変わらず続いています。

地球規模での環境の危機が叫ばれている今、リサイクル業、産業廃棄物・一般廃棄物処理業を営むものとして、廃棄物の再資源化や省エネルギーをより一層すすめることにより、環境への負荷の軽減を図り、人と環境に優しく、お客様に信頼される企業を目指します。

『 環 境 方 針 』

- 1、環境関連法規および当社が同意するその他の合意事項を遵守します。
- 2、環境方針を全従業員に周知し、継続的な環境負荷の低減を目指します。
- 3、工場、事務所の省エネルギーに取り組み、二酸化炭素排出量を削減します。
- 4、節水に取り組み総排水量を抑制します。
- 5、リユース・リサイクルの推進により、廃棄物排出量を削減します。
- 6、物品のグリーン購入を促進します。
- 7、環境配慮サービスとして、お客さまへの廃棄物減量提案に、積極的に取り組みます。
- 8、CSRを重視し、障がい者雇用等での社会貢献に積極的に取り組みます。
- 9、環境経営への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ、公表します。

制定日：2008年7月1日

改定日：2014年7月1日

愛知県豊明市栄町高根103番地
株式会社 中 西

代表取締役社長

笠原尚志

組 織 の 概 要

1、事業者名及び代表者名

株式会社 中西 代表取締役社長 笠原 尚志

2、事業所名及び所在地

本社、本社工場 愛知県豊明市栄町高根103番地
 新左山工場 愛知県豊明市栄町新左山1丁目754番地
 鹿伏兎環境センター 愛知県津島市鹿伏兎町字袴腰地内

3、環境管理責任者連絡先

環境管理責任者 代表取締役社長 笠原 尚志
 Tel : 0562-97-6925 Fax : 0562-97-6379
 E-Mail sigen@okataduke-seiri.com HP : <https://okataduke-seiri.com/>
 <https://kataduke-tonton.com/>

4、事業の概要

	資源		産業廃棄物		一般廃棄物
	収集運搬	中間処理	収集運搬	中間処理	収集運搬
本社、本社工場	資源全般	資源全般	許可品目 (4ページ参照)	廃プラスチック類	許可品目 (4ページ参照)
新左山工場		プラスチック製容器包装 ペットボトル			
鹿伏兎環境センター	プラスチック製容器包装 粗大ごみ	プラスチック製容器包装 ペットボトル・金属類 粗大ごみ			許可品目 (4ページ参照)

5、事業規模

創業：1964年 法人設立：1994年5月17日 資本金：2,000万円

活動規模	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
廃棄物 収集運搬量	t	12,299	12,721	11,725	11,109	8,600※
〃 処分量	t	12,327	12,808	12,605	12,004	9,800※
売上高	百万円	575	628	645	622	---
役員・従業員	人	66	69	73	77	---
敷地面積	m ²	8,322	8,322	8,322	8,322	---

・処理量は4月～翌年3月、従業員数・敷地面積は取組年度の4月1日時点 ※2020年度は予測値

6、エコアクション21の対象範囲、環境活動レポートの対象期間及び発行日

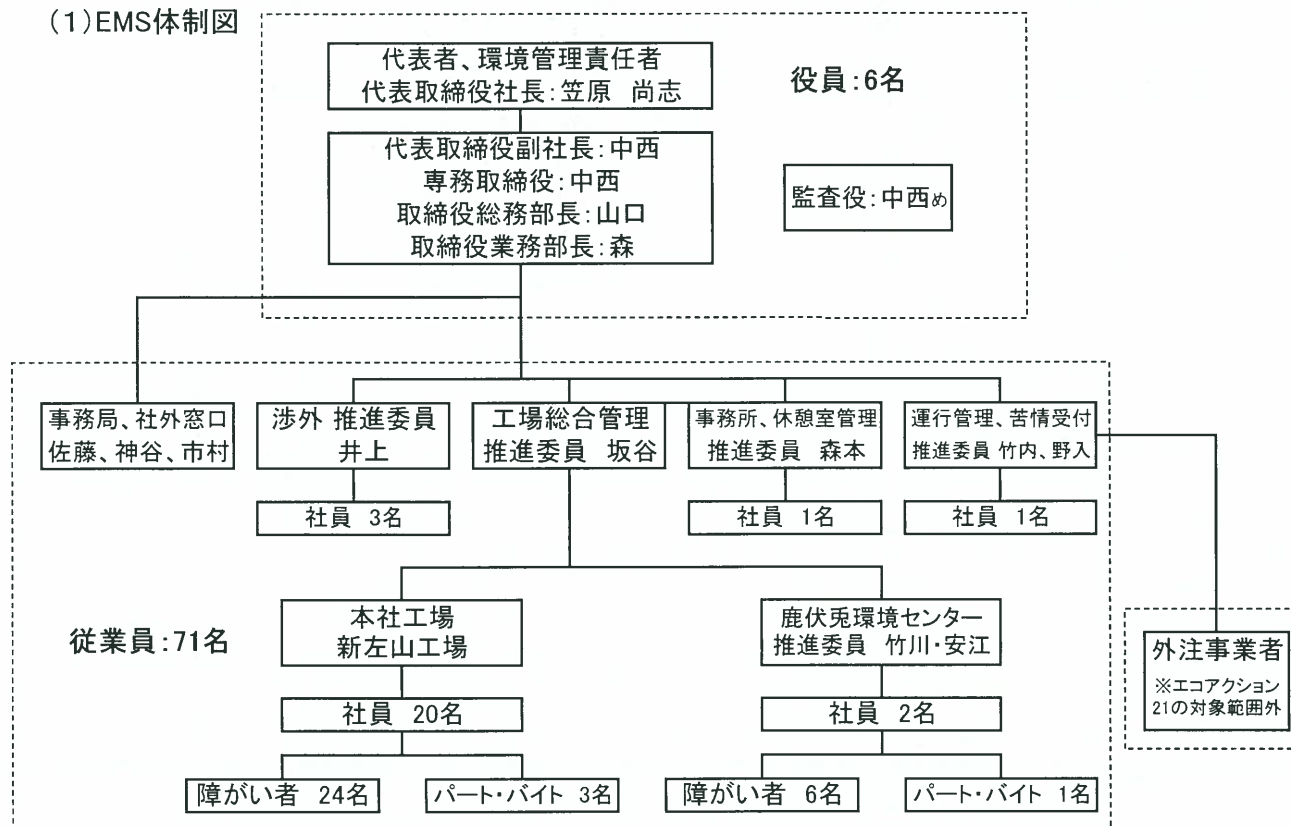
(1)エコアクション21の対象範囲(認証・登録範囲)

- ・対象組織 ; 全組織、全従業員
- ・対象活動 ; 全活動
- (資源の収集運搬・中間処分、産業廃棄物の収集運搬・中間処分、一般廃棄物の収集運搬)

(2)環境活動レポート

- ・対象期間 ; 2019年4月1日～2020年3月31日
- ・発行日 ; 2020年4月17日

(1)EMS体制図



(2)EMS役割、責任、権限

EMS役割		担当者	責 任 、 権 限
代表者 (環境管理責任者)		社長	EMS総責任者、環境方針作成、人的物的資源用意、実施体制・計画承認システムの適合性・運用状況評価、システム見直し指示
代表者補佐		副社長、専務 総務部長、監査役	代表者補佐業務全般
事務局 社外窓口		佐藤、神谷、市村	計画立案、文書作成・管理、環境教育計画・実施、EMS実行指示 結果の取りまとめ・分析・評価・改善指示・報告 システムの適合性・運用状況監査、システム見直し案作成
		森、佐藤	環境関連法律の改正・チェックと対応
推進 委員	共 通		部署計画立案、作業教育、EMS実行指示、結果確認・記録・報告 改善案の検討・提案、障がい者に関する取り組み
	渉 外	井上	受託した資源、廃棄物等の適正処理と廃棄物排出量削減に関する 具体策検討・提案、お客様へのリサイクル啓発活動・廃棄物減量提案
	事務所 休憩室	森本	事務所と休憩室における取り組みの確認・記録・報告 グリーン購入の促進
	運行管理 苦情受付	野入	省エネルギーの立場に立った運行スケジュールの推進 エコドライブや車両整備実施状況確認・記録・報告 社外からの苦情や要望の受付と処理
	本社工場 新左山工場	坂谷	工場(リフト、ショベルローダを含む)における取り組み 工場設備の省エネルギーに関する具体策検討・提案
	鹿伏兎環境 センター	竹川・安江	鹿伏兎環境センター全般的取り組み
	全社	竹内・坂谷 竹川・安江	社会貢献活動(障がい者雇用、生物多様性) その他(地域活動への参加)

8、事業活動に関する許可、登録の内容

(1) 一般廃棄物収集運搬業許可

地 域 許可番号	更新日(含新規) 許可期限	積替え保管 許可	事 業 の 範 囲
豊明市 2指令豊環第128号	R2年4月1日 R4年3月31日	○	一般廃棄物の収集運搬(豊明市地内) 事業系一般廃棄物、家庭から出る一時多量ごみ、特定家庭用機器
刈谷市 刈ごみ減第194-34号	R2年4月1日 R4年3月31日	---	一般廃棄物の収集運搬(刈谷市地内) 事業系一般廃棄物、家庭系一般廃棄物
東浦町 第5201-15号	R2年4月1日 R4年3月31日	---	豊明市・大府市・阿久比町地内で収集した下記一般廃棄物の荷卸し 事業系一般廃棄物(可燃)、家庭系一般廃棄物(可燃・不燃)
第5188-18号	R2年4月1日 R4年3月31日	---	一般廃棄物の収集運搬(東浦町地内) 家庭系一般廃棄物(一時多量ごみ、特定家電用機器)
大府市 大府市指令環第1223-17号	R2年4月1日 R4年3月31日	○	一般廃棄物の収集運搬(大府市地内) 家庭系一般廃棄物(特定家庭用機器を含む)、事業系一般廃棄物
阿久比町 2阿指令建第14号	R2年4月1日 R4年3月31日	---	一般廃棄物の収集運搬(阿久比町地内) 事業系一般廃棄物、家庭系一般廃棄物
津島市 01津島生環第234号	R1年12月22日 R3年12月21日	---	一般廃棄物の収集運搬(津島市地内) 事業系一般廃棄物

(2) 一般廃棄物積替え保管施設

保管場所	保管面積	保管上限	品 目	設備の概要
本社	16(平方メートル)	16(立方メートル)	事業系、家庭から出る一時多量ごみ	コンクリート床の
新左山工場	44(平方メートル)	124(立方メートル)	特定家庭用機器	建屋内にて保管

(3) 産業廃棄物収集運搬業許可

地 域 許可番号	更新日(含新規) 許可期限	積 替 え 保 管	品 目														
			廃 プラ	ガ ン ク ラ ン ク ス ト	陶 磁 器	金 属 く ず	廃 油	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	燃 え 殻	汚 泥	が れ き 類	動 植 物 性 残 さ	廃 酸	廃 アルカリ	ゴ ム く ず
愛知県 02310083130	H31年4月9日 H36年4月8日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
岐阜県 02100083130	H27年5月26日 H32年5月16日	---	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

(4) 産業廃棄物積替え保管施設

保管場所	保管面積	保管上限	品目※	設備の概要
本社	25.76 (平方メートル)	35.34 (立方メートル)	燃え殻(水銀含有ばいじん等を除く。) 汚泥(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃油、廃酸(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃アルカリ(水銀含有ばいじん等を除く。) 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず 金属くず(自動車等破砕物を除く。) ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。) 及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。石綿含有産業廃棄物を含む。) がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む。)	品目ごとに 容器に入れ コンクリート床の 建物内にて保管

※水銀使用製品産業廃棄物を含む

(5) 産業廃棄物処分業許可

事業の区分	産業廃棄物の種類※	許可番号	許可年月日	有効年月日
中間 処分	(圧縮、破砕) 廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)	02320083130	H31年 1月30日	H35年 9月4日
(選別)	廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。) ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。) ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。) 及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)			

※水銀使用製品産業廃棄物を除く

(6) 廃棄物再生事業者登録

事 業 の 内 容	登録年月日	登録番号	期 限
古紙、金属くず、空ビン、ペットボトルの再生	H7年1月24日	2395074	---

9、運搬車両の種類と台数

(1) 収集運搬車両

種 別	キャブオーバ			パワーゲート車	塵芥車	合計
最大積載量(kg)	1500	2000	3000	2000	1800~3000	
台数(台)	1	2	7	1	6	17

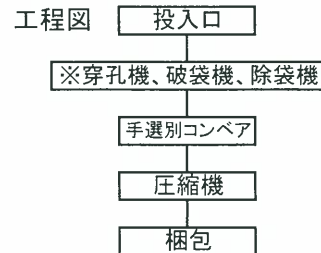
(2) 構内荷役車両

種 別	フォークリフト		バケット付 リフト	クランプリフト	ショベルローダ	合計
最大積載量(kg)	1500	2000				
台数(台)	1	1	1	4	3	10

10、中間処理設備の概要

(1) プラスチック類圧縮機

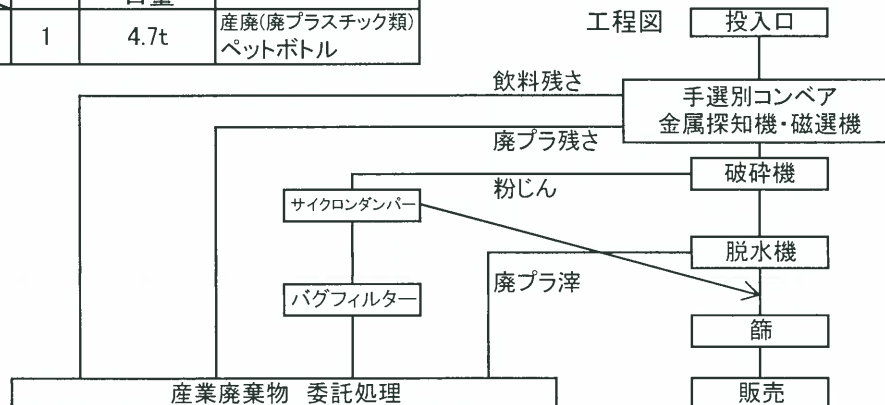
種 別	台数	処理能力 日量	用 途
本社工場	1	58m3	産廃(廃プラスチック類) ペットボトル プラスチック製容器包装
新左山工場	1	4.8t	ペットボトル プラスチック製容器包装
鹿伏兎環境 センター	1	4.8t	ペットボトル プラスチック製容器包装



※本社工場は穿孔機、新左山工場は破袋機と除袋機
鹿伏兎環境センターは破袋機

(2) プラスチック類破碎機※

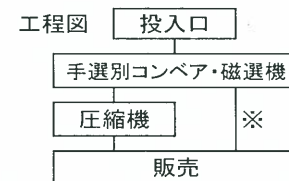
種 別	台数	処理能力 日量	用 途
本社工場	1	4.7t	産廃(廃プラスチック類) ペットボトル



※プラスチック類破碎機は2020年2月に撤去

(3) 缶圧縮機(本社工場)・缶選別機(鹿伏兎環境センター)

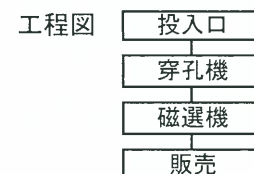
種 別	台数	処理能力 日量	用 途
本社工場	1	3.2t	アルミ缶
鹿伏兎環境 センター	1	※	アルミ缶 スチール缶



※鹿伏兎環境センターの缶選別機は選別コンベア稼働のみ ※鹿伏兎環境センターは圧縮機なし

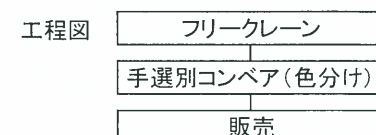
(4) スプレー缶処理機

種 別	台数	処理能力 日量	用 途
本社工場	1	800kg	アルミ製スプレー缶 スチール製スプレー缶



(5) 空ビン選別ライン

種 別	台数	機 器 能 力
本社工場	1	フリークレーン定格荷重(125kg) コンベアスピード: 0~0.6m/s



11、受託した一般廃棄物、産業廃棄物等の量

(1) 收集運搬量

單位:t

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備 考
一般廃棄物	89	67	101	97	
産業廃棄物	327	289	339	363	
資源	11,883	12,365	11,285	10,649	
計	12,299	12,721	11,725	11,109	

(2) 中間処理量

单位:t

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	備 考
産業廃棄物	259	251	227	185	
資源	12,068	12,557	12,378	11,819	
計	12,327	12,808	12,605	12,004	

12、事業計画の概要

(1)一般廃棄物、産業廃棄物、資源の受託量見込み(2020年度)

收集運搬量	8.600t	中間処理量	9.800t
-------	--------	-------	--------

(2) 収集運搬及び中間処理の具体的な計画

ア、地方自治体委託業務

安全で速やかな収集運搬、分別基準に適合した中間処理及び適切な保管を行います。

イ、民間企業や個人のお客様

各々のニーズに応じた収集運搬及び中間処理計画のご提案、かつ確実適切な処理を行います。

ウ、一般廃棄物

- ・「一般廃棄物発生源確認書」の回付を適切に行います。
- ・収集運搬、積替え保管を適切に実施します。
- ・実績報告書提出、帳簿管理を漏れなく実施します。

工、産業廃棄物

- ・委託契約書の締結、マニフェストの交付・送付・回付を適切に行い、期日内に適正に処理されたかを確認します。
- ・電子マニフェストを適正に入力、確認します。
- ・収集運搬、積替え保管、中間処理を適切に実施します。
- ・実績報告書提出、帳簿管理を漏れなく実施します。

(3)環境保全措置の概要

ア、一般廃棄物

収集運搬・積替え保管基準(廃棄物処理法施行令3条)及び当該市町の
廃棄物の処理及び清掃に関する条例を遵守します。

イ、産業廃棄物

収集運搬・処分基準(廃棄物処理法施行令6条)、産業廃棄物の保管基準(同施行規則8条)を遵守します。

13、廃棄物処理料金

料金につきましては、種類・量・距離により計算致します。(お見積りは無料です)
詳しくは営業係(0562-97-6925)までお気軽にご相談ください。

環境目標 (2019年度)

(年度は4～3月)

			単位	実績			目標			備考
				2016年度	2017年度	基準年度 2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
二酸化炭素排出量	全社	CO2排出量	kg-CO2	197,826	208,382	211,857	---	---	---	※1
		売上	万円	57,545	62,804	64,488	---	---	---	
		売上あたりCO2排出量	kg-CO2/ 万円	3.44	3.32	3.29	3.27	3.26	3.24	※2
			増減%	---	---	基準	▲0.5%	▲1.0%	▲1.5%	
	鹿伏兎 環境センター	圧縮機の稼働時間 あたり処理量	kg/h 増減%	473 ---	475 ---	478 基準	480 0.5%	483 1.0%	485 1.5%	
総排水量		総投入量 (鹿伏兎含まず)	立米 増減%	780 ---	986 ---	852 基準	848 ▲0.5%	843 ▲1.0%	839 ▲1.5%	※3
廃棄物排出量	資源化困難物等	資源化困難物等量	t	38.0	62.4	79.5	---	---	---	※4
		中間処理受託量	t	12,327	12,808	12,605	---	---	---	
		中間処理受託量あたり 資源化困難物等量	kg/t	3.09	4.87	6.30	6.80	6.77	6.74	※5
			増減%	---	---	基準	8.0%	7.5%	7.0%	
	コピー用紙・伝票等、紙類投入量		kg 増減%	261 ---	260 ---	258 基準	257 ▲0.5%	255 ▲1.0%	254 ▲1.5%	
グリーン購入	事務所、休憩所関連の グリーン購入品目数		品目	28	29	30	---	---	---	
環境配慮 サービス	お客さまへの廃棄物 減量提案 採用数		件	34	35	35	---	---	---	
	工場見学者実績		人	280	238	185	---	---	---	
社会貢献活動	障がい者 雇用	能力開発、機械改良 職域開発	件	3	5	6	1	1	1	
		実習、見学受入等	件	3	4	6	---	---	---	
	生物 多様性	鹿伏兎；社内菜園	件	1	1	1	1	未定	未定	
	その他	夏祭り参加	件	2	1	1	1	1	1	
		夏祭り片付け	件	3	3	3	3	3	3	
		蜻蛉の会参加 (東日本大震災追悼)	件	1	1	1	1	1	1	

※1 電気の二酸化炭素排出係数は 中部電力の2015年度CO2実排出係数0.486(kg-CO2/kWh)を使用。

電力値は、鹿伏兎環境センターを含みません。(市の施設とのメーター共用のため)

※2 2019年度の売上あたりCO2排出量目標値は、2018年度の売上あたりCO2排出量実績値3.29kg-CO2/万円から0.5%分を引いたもの。

※3 2019年度の総排水量目標値は、2018年度の総排水量実績値852m³から0.5%分を引いたもの。

※4 中間処理後の資源化困難物と、自社発生の可燃ごみ・不燃ごみの合計。

※5 2019年度の中間処理受託量あたり資源化困難物等量目標値は、2018年度の資源化困難物等量実績値79.5tに廃プラスチック入荷量の増加等に伴う5.5tの増加見込み分を加え、2019年度の中間処理受託量見込み値12,500tで割ったもの。

環境活動計画（2019年度）

環境目標を達成するための具体的な活動計画は下記のとおりです。
活動内容ごとの担当者や取り組み開始時期等、詳細は別途従業員に周知し
確実な実施を目指します。

（2019年4月～2020年3月）

			部署・担当者	内 容
二 酸 化 炭 素 排 出 量	化 石 燃 料	車 両	本社;野入 鹿伏兎;安江	安全運転エコドライブ推進システム(ECO-SAM)による運転検証と指導 ・アイドリングストップの徹底 ・早めのアクセルオフでエンジンブレーキを使用、極力一定速度運転 ・急発進、急加速をしない 冬季の暖機運転時間を10分間程度に短縮 夏季のカーエアコンの設定温度を高め設定 タイヤ空気圧の点検
		リ フ ト 等	本社・新左山;坂谷 鹿伏兎;安江	効率的な使用(移動距離を少なく)、ギア(1速2速)をうまく使う アイドリングストップの徹底 急発進、急加速をしない 5S活動
	電 力	事 務 所 ・ 休 憩 所	本社;森本 鹿伏兎;竹川	電力デマンド監視システムの有効活用 ※本社のみ 空調の適温設定(夏季26度、冬季22度) 終業時の電源オフ徹底(換気扇を含む) 不必要な照明・エアコン・換気扇等はこまめに消す グリーンカーテンによる屋内温度上昇の抑制 ※鹿伏兎のみ
		工 場	本社・新左山;坂谷 鹿伏兎;竹川	プレス機等の暖機運転時間短縮 休憩時間、昼休み、終業時の工場電源オフ徹底 季節はずれのスポットクーラー元電源オフ ※本社のみ
総排水量			本社・新左山;神谷 鹿伏兎;安江	手洗い用水の節水 障がい者の手洗い指導 トイレ掃除、トラック洗浄時には節水に心がける 軍手の標準持ち出し量周知徹底等 ※本社のみ 漏水チェック(1回/月) ※本社のみ
廃棄物 排出量			本社・新左山;神谷 鹿伏兎;安江	分別の徹底 可燃ゴミ・不燃ゴミの定期的な内容チェックと再分別 回収時の違反シール貼付は、理由をなるべく丁寧に記載する
			本社;森本 鹿伏兎;安江	裏紙使用、両面コピーの促進 ペーパーレスFax送受信、文書電子化の促進 ミスコピー不要コピーの削減
グリーン 購入			本社;森本	グリーン購入の促進 ※本社のみ
環境配慮 サービス			本社;井上 鹿伏兎;竹川	お客さまへの廃棄物減量提案 見学者を積極的に受け入れ、リサイクル啓発活動を行う
社 会 貢 献 活 動	障がい 者雇用	本社・新左山;坂谷 鹿伏兎;竹川	障がい者の能力開発・機械改良・職域開発 障がい者の実習、見学受入等	
	生物 多様性	鹿伏兎;竹川	社内菜園 ※鹿伏兎のみ	
	その他	本社;竹内、坂谷	地域の活動への参加(地域団体夏祭り参加、自治会夏祭り片づけ、蜻蛉の会など)	
体 制 整 備 等	会議 教育 訓練	本社・新左山;神谷 鹿伏兎;竹川	環境教育の充実、コミュニケーション(環境会議、推進委員会議、全体ミーティング) 防火訓練、緊急事態への準備・対応策	
		本社;坂谷	活動状況の巡視(1回/週) ※本社のみ	
	その他	本社;佐藤 鹿伏兎;竹川	各種文書、帳票、手順書等整備	

環境目標の実績(2019年度)

評価 ○…達成 ×…未達成

1. 二酸化炭素排出量実績

【環境方針3項】

工場、事務所の省エネルギーに取り組み、二酸化炭素排出量を削減します。

(1) 二酸化炭素排出量実績

・電力値は、鹿伏兎環境センターを含みません。(11ページ参照)

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	基準年度 2018年度	2019年度	2019年度		
CO2排出量 ①	kg	197,826	208,382	211,857	---	208,941	---	※1
売上 ②	万円	57,545	62,804	64,488	---	62,285	---	※2
売上あたりCO2排出量 ①/②	CO2-kg/万円 増減%	3.44	3.32	3.29 基準	3.27 ▲0.5%	3.35 1.8%	×	※3

(年度は4～3月)

※1 電気の二酸化炭素排出係数は 中部電力の2015年度CO2実排出係数 0.486kg-CO2/kWhを使用

※2 4月末決算のため、2019年度の売上は計算値です。

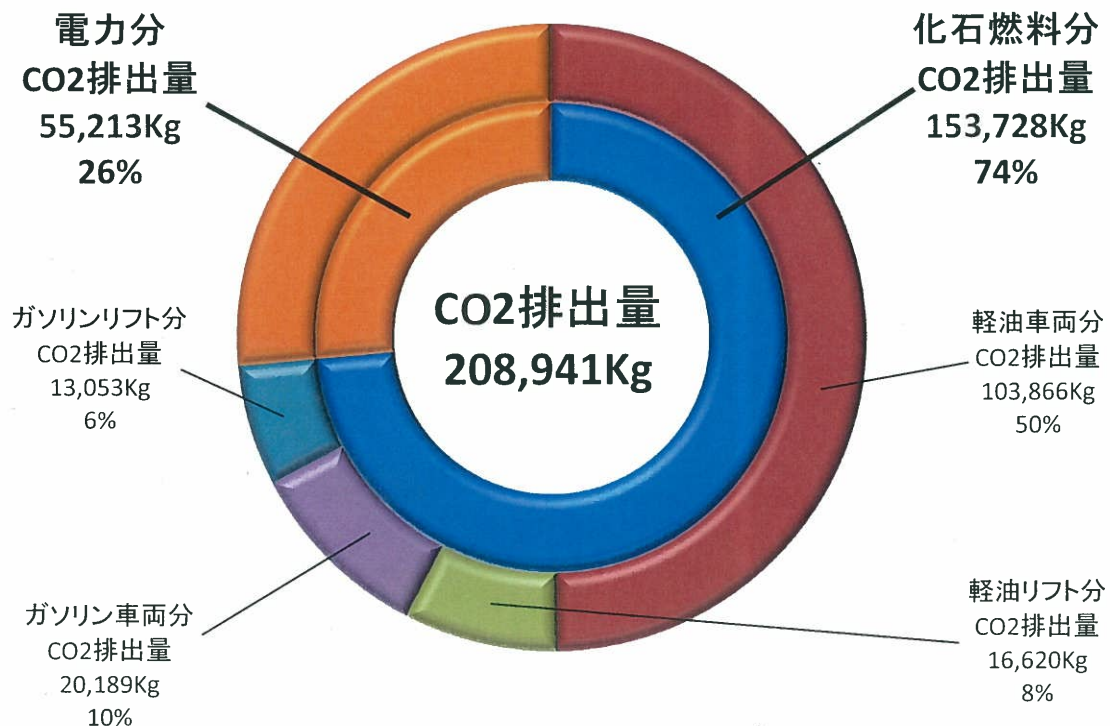
※3 売上あたりCO2排出量の増加の要因は、下記のとおりです。

①資源価格の不調などにより、売上げが減少した。

②廃プラスチック破碎処理機撤去や、資源の収集運搬量の減少等に伴い、CO2排出量が減少した。

③分子であるCO2排出量の減少分よりも分母である売上の減少分が大きいため、売上あたりCO2排出量が増加した。

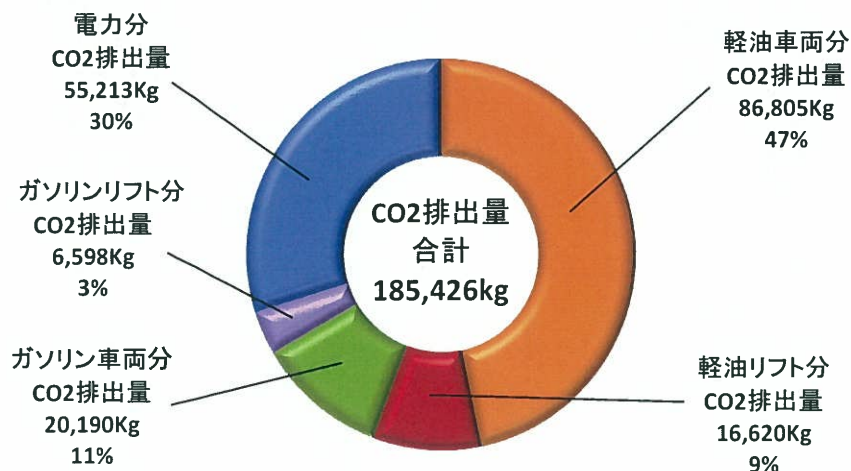
(2) 2019年度二酸化炭素排出量割合について



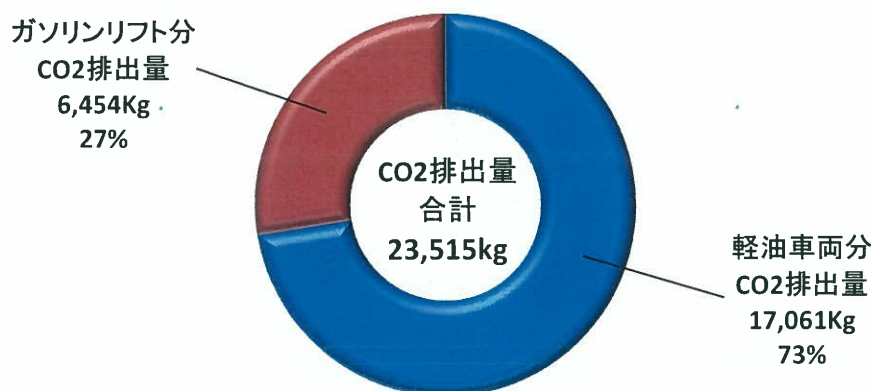
二酸化炭素排出量の割合は化石燃料による排出量が74%、電力による排出量が26%でした。化石燃料の割合の内訳では軽油車両が最も多く、全体の約50%を占めています。

サイト別二酸化炭素排出量 (2019年度:単位kg)

本社工場・新左山工場



鹿伏兔環境センター

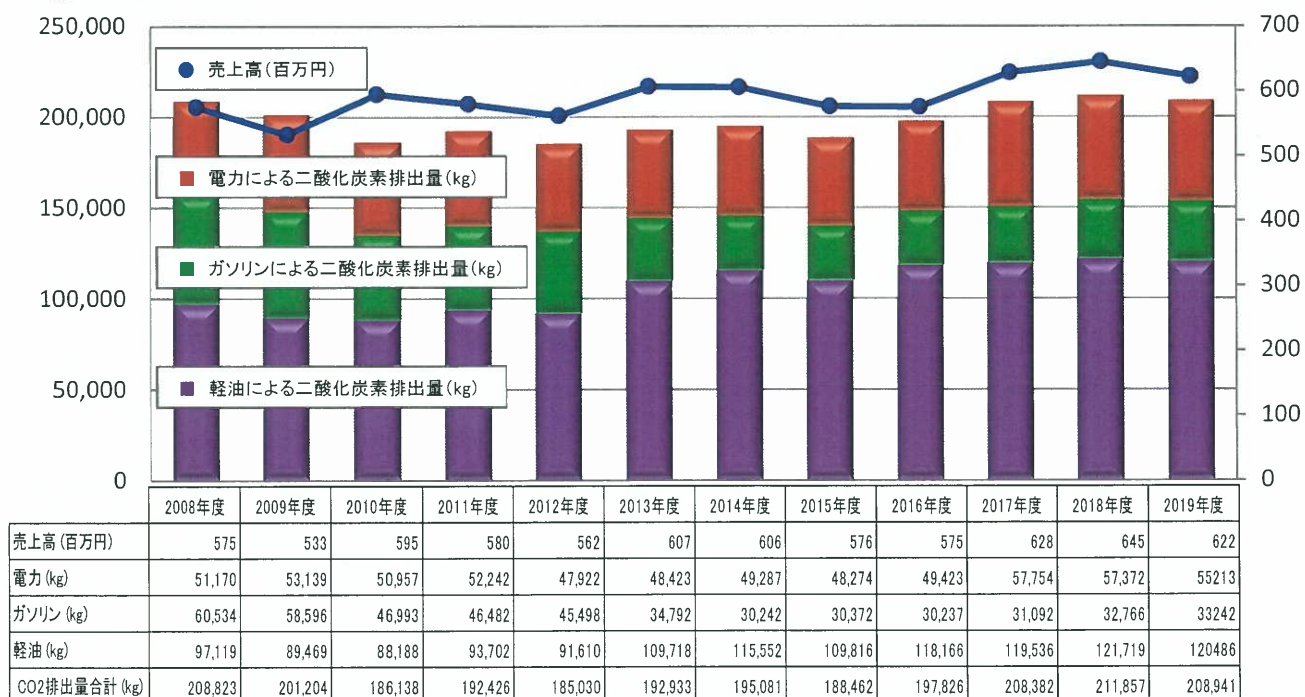


※鹿伏兔環境センターは電気使用量を把握できないため、化石燃料排出分のみ記載。

全社二酸化炭素発生量(kg)と売上高(百万円)年度推移

二酸化炭素排出量(kg)

売上高(百万円)



(3) 鹿伏兎環境センターの電力使用量について

上記事業所は市の施設の一部を借用して事業を行っているため、独自のメーターがなく、電力使用量が正確に把握できない状態です。生産効率を上げれば電力使用量が抑えられるため、「圧縮機の稼働時間あたり処理量」を電力使用量の代替とします。

		単位	実績			目標	実績	評価	備考
			2016年度	2017年度	基準年度 2018年度	2019年度	2019年度		
圧縮機の稼働時間 あたり処理量	鹿伏兎 環境センター	kg/h	473	475	478	480	480	○	※1
		増減%	---	---	基準	0.5%	0.5%		

(年度は4～3月)

※1 圧縮機の無駄なアイドリングをなくすことにより、目標を達成しました。

(4) 太陽光発電 売電実績

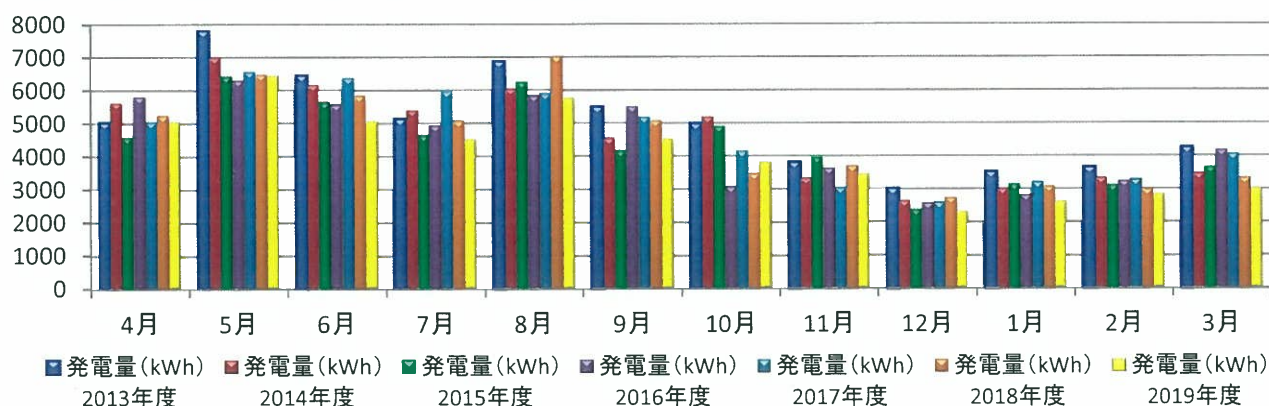
2013年1月に運用開始した太陽光発電設備の売電実績は、下記のとおりです。

発電出力；47.4kw、太陽電池モジュール252枚（1枚の寸法 1580×808mm）

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度		
太陽光発電 売電量 ①	kWh	53,484	55,338	54,091	---	49,445	---	
全社 電力使用量 ②	kWh	101,693	118,836	118,049	---	113,608	---	
売電比率 ①/②	%	52.6%	46.6%	45.8%	---	43.5%	---	

(年度は4～3月)

太陽光発電 売電量月別推移(単位kWh)



2. 水資源投入量

【環境方針 4 項】 節水に取り組み総排水量を抑制します。

(1) 水資源投入量実績

・鹿伏兎環境センターを含みません。（次ページ参照）

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	基準年度 2018年度	2019年度	2019年度		
総投入量	立米	780	986	852	848	791	○	※1
	増減%	---	---	基準	▲0.5%	▲7.2%		

(年度は4～3月)

※1 水資源投入量は、雨水を有効利用して上水使用量の増加を抑えることにより、目標を達成しました。

(2) 鹿伏兎環境センターの水資源投入量について

上記事業所は市の施設の一部を借用して事業を行っているため、独自のメーターがなく水道使用量が正確に把握できない状態です。

水道の使用は、トイレ・手洗い・洗濯・洗車・植物の水やりに限られるため、数値管理は行わず、各水道の蛇口に注意喚起することで対処しています。



3. 廃棄物排出量

【環境方針 5 項】 リユース・リサイクルの推進により、廃棄物排出量を削減します。

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	基準年度 2018年度	2019年度	2019年度		
資源化困難物等量	t	38.0	62.4	79.5	---	92.7	---	※1・2
中間処理受託量	t	12,327	12,808	12,605	---	12,004	---	
中間処理受託量あたり 資源化困難物等量	kg/t 増減%	3.09 ---	4.87 ---	6.30 基準	6.80 8.0%	7.72 22.5%	×	
コピー用紙・伝票等、紙類投入量	kg 増減%	261 ---	260 ---	258 基準	257 ▲0.5%	257 ▲0.5%	○	

(年度は4～3月)

※1 資源化困難物とは、自社分別が困難なため、委託先(行政)にて処分される物です。

※2 中間処理受託量あたり資源化困難物等量の増加の要因は、容器包装プラスチックについて品質の低い廃プラスチックの入荷量増加に伴う可燃ごみの増加や、カレットの選別精度を上げることによる製品品質の向上に伴う不燃ごみの増加によるものです。



4. グリーン購入

【環境方針 6 項】 物品のグリーン購入を促進します。

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度		
事務所、休憩所関連の グリーン購入品目数	品目	28	29	30	31	31	○	※1

(年度は4～3月)

※1 担当者の努力により、購入品目数を増やすことができました。

5. 環境配慮サービス

【環境方針 7 項】

環境配慮サービスとして、お客さまへの廃棄物減量提案に、積極的に取り組みます。

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度		
お客さまへの廃棄物減量提案 (採用数)	件	34	35	36	37	37	○	
工場見学者実績	人	280	238	185	---	150	---	

(年度は4～3月)

高齢者が地元で快適に住み続けられることを願い、「お片付けサービス」を行っています。



一般宅片付け 作業前



一般宅片付け 作業後

6. 社会貢献活動

【環境方針 8 項】 CSRを重視し、障がい者雇用等での社会貢献に積極的に取り組みます。

(1) 障がい者雇用

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度		
能力開発、機械改良、職域開発	件	3	5	6	1	6	○	※1
実習、見学受入等	件	3	4	6	---	8	---	

(年度は4～3月)

※1 下記のような能力開発をしました。



箱洗浄作業;1名



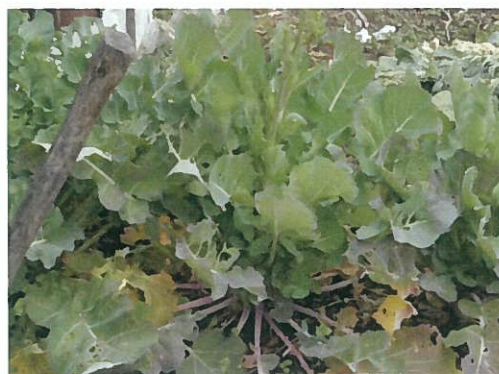
箱上げ作業;1名

上記の他に、障がい者職業生活相談員認定講習を2名が修了しました。

(2) 生物多様性

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度		
鹿伏兎 社内菜園	件	1	1	1	1	1	○	

(年度は4～3月)



鹿伏兎;社内菜園

(3) 地域の活動への参加

	単位	実績			目標	実績	評価	備考
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度		
夏祭り参加	件	2	1	1	1	1	○	
夏祭り片付け	件	3	3	3	3	3	○	
蜻蛉の会参加 (東日本大震災追悼)	件	1	1	1	1	0	×	※1

(年度は4～3月)



蜻蛉の会 (東日本大震災追悼)

※1 新型コロナウイルス感染予防・拡散防止のため、開催が中止になりました。
左の写真は2019年のものです。

7. 化学物質使用量

有害化学物質は使用していません。

環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

活動評価 ○…充分に取り組めた △…もう少し ×…不十分

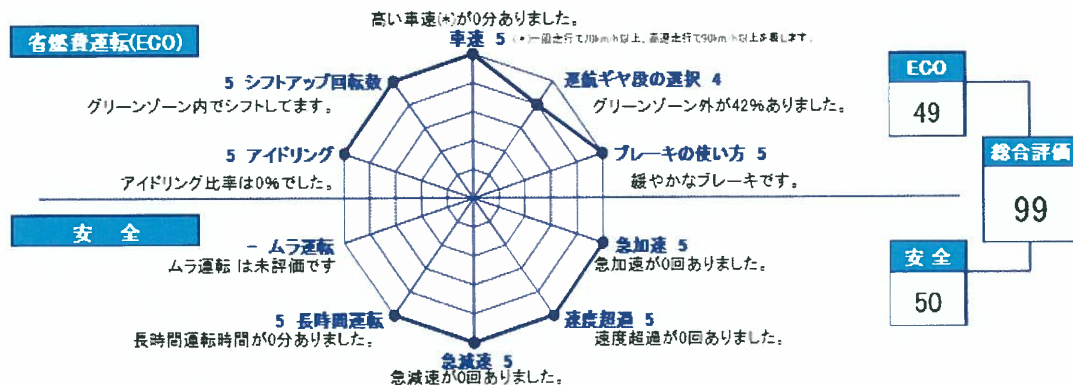
			活 動 計 画	評 価	次年度の取組
二 酸 化 炭 素 排 出 量	化 石 燃 料	収集運搬・営業車両	安全運転エコドライブ推進システム (ECO-SAM)による運転検証と指導 ※本社 アイドリングストップの徹底 早めのアクセルオフでエンジブレキを使用 極力一定速度運転 急発進、急加速をしない	○ ECO-SAM波状指数 8未満の割合； 90.4% 車両記録簿、エアコン省エネ ○の割合 ； 100% コメント 昨年度に比べ、ECO-SAM波状 指数8未満の割合が増加しまし た。 勤続年数5年未満で運転が未熟 なドライバーが増えていますの で、今後も波状指数8未満の割 合を増やせるよう努力します。	継続してエコドラ イブの推進に取り 組めます。
		リフト等	効率的な使用(移動距離を少なく) ギア(1速2速)をうまく使う アイドリングストップの徹底 急発進、急加速をしない 5S活動	本社 ea巡視 ○の割合 ； 100% 終業時チェック表 ○の割合 ； 100%	継続して取組めます。
	電 力	事務所・休憩所	電力デマンド監視システムの有効活用 ※本社 空調の適温設定(夏季26度、冬季22度) 終業時の電源オフ徹底(換気扇を含む) 不必要な照明・エアコン・換気扇等はこまめに消す グリーンカーテンによる屋内温度上昇抑制 ※鹿伏兎	○ 鹿伏兎 設備・電灯など電源チェック表 記入漏れ ； なし コメント ea巡視、終業時チェックともに、 取り組みは計画どおり実施でき ました。 ea巡視については引き続き、○ の割合100%の継続を目指しま す。	
		工場	プレス機等の暖機運転時間短縮 休憩時間、昼休み、終業時の工場電源オフ徹底 季節はずれのスポットクーラー元電源オフ ※本社		
	総排水量		手洗い用水の節水 障がい者の手洗い指導 トイレ掃除、トラック洗浄時には節水に心がける 軍手の標準持ち出し量周知徹底等 ※本社のみ 漏水チェック(1回/月) ※本社のみ		
廃 棄 物 排 出 量			分別の徹底 可燃ゴミ・不燃ゴミの定期的な内容チェックと再分別 回収時の違反シール貼付は、 理由をなるべく丁寧に記載する	○ ごみ排出時チェック表 適合物の割合 99.8% コメント 従業員の努力により、可燃ごみ や不燃ごみの不適合物の割合 を減らすことができました。	継続して取組めます。
	事務所・休憩所		裏紙使用、両面コピーの促進 ペーパーレスFax送受信、文書電子化の促進 ミスコピー不要コピーの削減	○ コメント 表示札を設置したり、従業員へ 周知した結果、意識して取り組 むことができました。	継続して取組めます。

	活 動 計 画	評価	次年度の取組
グリーン購入	グリーン購入の促進	○ グリーン購入品目数 実績: 31品目 詳細は12ページに記載。	継続して取組めます。
環境配慮サービス	お客さまへの廃棄物減量提案 見学者を積極的に受け入れ、 リサイクル啓発活動を行う	○ 廃棄物減量提案(採用数) 実績: 37件 詳細は13ページに記載。	継続して取組めます。
社会貢献活動	障がい者の能力開発・機械改良・職域開発 障がい者の実習、見学受入等	○ 能力開発等実績 目標: 1件 ; 実績: 6件 実習、見学受入等 実績: 8件 詳細は13ページに記載。	継続して取組めます。
	生物多様性 鹿伏兎; 社内菜園	○ 詳細は14ページに記載。	継続して取組めます。
	その他 地域の活動への参加 地域団体夏祭り参加 自治会夏祭り片づけ 蜻蛉の会など	△ 地域の活動への参加 目標: 5件 ; 実績: 4件 詳細は14ページに記載。	新型コロナウイルス感染予防・拡散防止のため、蜻蛉の会への参加は中止になりました。
体制整備等	コミュニケーションシート	○ 称賛: 2件 ; 苦情: なし	継続して取組めます。
	環境会議(代表者、代表者補佐、事務局、推進委員等)	○ 目標: 1回 ; 実績: 1回	
	推進委員会議	○ 目標: 1回 ; 実績: 1回	
	全体ミーティング	○ 目標: 6回 ; 実績: 6回	
		コメント 計画通り実施できました。	
	訓練等 緊急事態への準備・対応策 防火訓練・防火教育 危険個所の実地確認と事故発生時の処置 トラックの安全運転と事故発生時の処置 リフトの安全運転と事故発生時の処置 等	○ 目標: 9回 ; 実績: 9回 コメント 消防署のご協力(通報訓練・訓練用消火器)も仰ぎ、確実に訓練を実施することができました。	継続して取組めます。
	その他 各種文書、帳票、手順書等整備	文書・記録管理表により、点検済	

今年度のトピックス

1. 安全運転エコドライブ推進システム MIMAMORI導入(2019年11月～)

・デジタルタコグラフとしての機能を備える他、ドライバーの運転操作情報(急加速、急ブレーキの有無など)を管理できます。(一部の車両に導入)



2. アルミ倉庫作業場の改善(2020年3月～)

・雨天時の作業をしやすくするため、アルミ倉庫作業場のテントを増設しました。

・また、アルミ圧縮機の設置場所を倉庫南側へ移設することにより、倉庫内の空きスペースを有効に活用することができるようになりました。



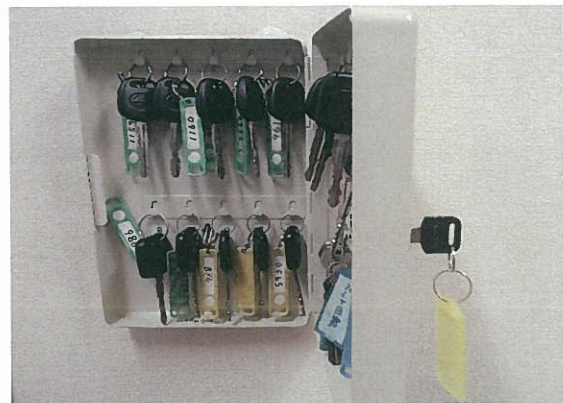
アルミ圧縮機移設前



アルミ圧縮機移設後

3. キーボックスの改善(2020年3月～)

・ペット倉庫のキーボックスを持ち運び可能なものに変更することによって、始業前および終業前の鍵の運搬作業がしやすくなりました。



環境関連法規等の遵守状況について

1、主たる法規制と遵守状況は、下記のとおりです。

主 な 法 令	遵 守 事 項	遵 守 状 況
大 気 汚 染 防 止 法	届出条件どおりの施設運用 施設基準の遵守	○
浄 化 槽 法	保守点検・清掃、浄化槽法定検査	○
悪 臭 防 止 法	悪臭の発生がないか確認	○
騒音規制法、振動規制法	届出条件どおりの施設運用 規制基準の遵守	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物、産業廃棄物許可確認、許可条件どおりの運用 収集運搬・処分・保管基準の遵守、マニフェスト・帳簿管理等	○
廃棄物の適正な処理の促進に関する条例 (愛知県)	産業廃棄物処理業者の処理能力実地確認 産業廃棄物処分記録を閲覧可能な状態にする	○
廃棄物の処理及び清掃に関する条例 (豊明市、東浦町、大府市、阿久比町)	一般廃棄物許可確認。許可条件どおりの運用 実績報告、帳簿等	○
廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 (刈谷市)		
循環システムの促進及び 廃棄物の適正処理に関する条例 (津島市)		
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	一般廃棄物、産業廃棄物許可確認。(廃棄物処理法の特例)	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品は3ヶ月に1回の簡易点検(2015年度から) フロン類引き渡し受託者は委託確認書の回付が必要	○
消 防 法	防火管理体制の構築と運用 (自主検査、消火器の法定点検、消防組織、教育・訓練等)	○
豊明市火災予防条例	指定可燃物届出条件どおりの運用 少量危険物保管庫届出条件どおりの運用	
県民の生活環境の保全等に関する条例 (愛知県)	アイドリングストップの義務 アイドリングストップ看板等の設置	○

※詳細は、社内文書(環境関連の該当法規等とその対応について)にまとめ、定期的に遵守状況を点検し違反が行われないようにしています。

2、環境関連法規等の違反及び訴訟・苦情等の有無

・過去3年間ありません。

代表者による全体的見直し

代表者が環境活動システム全体的見直しを行った結果は、下記のとおりです。

1、環境活動計画の実績と評価、次年度取組内容

(1)実績と評価

ア、環境目標の実績

- ・売上あたりのCO2排出量は目標未達成。

基準年度に対し、分母である売上は3.4%減少し、分子であるCO2排出量が1.4%減少したが、分母である売上が分子であるCO2排出量より大きく減少したため。

要因は下記のとおり。

- ①資源価格の不調等に伴い、売上が減少したため。
- ②廃プラスチック破碎処理機撤去等に伴い、電力使用量が減少したため。
- ③資源取引先の取引終了等に伴い、化石燃料使用量が減少したため。

CO2排出量減少の内訳は化石燃料分0.3%減、電力分1.1%減。

- ・水資源投入量は目標を達成することができた。

- ・太陽光発電売電量は電力使用量の43.5%を発電することができた。

太陽光発電売電量は49,445kWh、電力使用量は113,608kWhの実績。

- ・中間処理受託量あたり資源化困難物等量は目標未達成。

基準年度に対し、分母である中間処理受託量が4.8%減少したが、分子である資源化困難物等量が16.6%増加したため。要因は下記のとおり。

- ①容器包装プラスチックについては、可燃ごみの有料化が開始されたことによる、品質の低い廃プラスチックの入荷量増加等に伴い、資源化困難物等量が増加した。
- ②カレットについても、既存取引先の取引終了に伴い、中間処理受託量が減少したため。

- ・その他の項目は、すべて目標を達成できた。(詳細は、本レポート内で説明)

イ、環境活動計画書(実績評価)

- ・障がい者の能力開発、機械改良、職域開発

障がい者WGの指導により、能力開発を6件実施した。

- ・活動状況の巡視を含めて、その他の取り組みは計画どおり実施できた。

ウ、体制整備等

- ・教育・訓練は、予定どおり実施できた。

- ・産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(新規)

収集・運搬課程(3名)、特別管理収集・運搬課程(1名)、特別管理処分課程(1名)

エ、環境に関するコミュニケーション実績

- ・称賛:2件、要望:0件

(2)次年度の取り組み

ア、EMS実施体制・組織図の変更

- ・2020年4月1日付けで変更(従業員の入退社による変更)

イ、環境目標

- ・売上あたりCO2排出量

2019年度実績が目標未達成のため、下方修正した。

- ・中間処理受託量あたり資源化困難物等量

2019年度実績が目標未達成のため、下方修正した。

ウ、会議・教育訓練計画書

- ・変更なし

2、2020年度取組指針

- ・CO2排出量をできるだけ抑制するよう、車両・重機運転時のエコドライブや、事務所内・工場内の節電に意識して取り組みます。
- ・上水の無駄遣いをしないよう、節水に取り組みます。
- ・廃棄物をできるだけ抑制するよう、分別を意識して取り組みます。

環境活動レポートの公表、情報開示

1、環境活動レポートの公表

- ・関係する地方自治体に配布します。
- ・事務所に備え付け、お客さまが閲覧できるようにします。
- ・株式会社中西のホームページで公開します。
<https://okataduke-seiri.com/>
- ・エコアクション21中央事務局のホームページで検索、閲覧が可能です。
<http://www.ea21.jp/index.html>

2、産業廃棄物処理業者の優良性の判断に係る情報開示

産業廃棄物処理事業振興財団の産廃情報ネットを利用し、平成20年5月1日から情報開示しました。

- ・開示情報を定期的に更新します。
- ・産廃情報ネット
http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u2.php?UserID=356364
- ・優良さんばいナビ
<http://www3.sanpainet.or.jp/chukan2/company/356364/>

以上

過去の実施の特記事項①

倉庫内の配置改善、5S活動(2009年2月～)

- ・安全衛生委員会や防火管理チームと連携して、さらに安全で快適な工場作りに取り組んでいます。



表示札設置、維持



安全な通路、避難路の確保



本社 コピーFax複合機取替(2009年6月)

- ・省エネ大賞10年連続受賞のシリーズ機種を導入しました。
(推定で、消費電力を45%削減)
- ・取替により可能になったことは、下記のとおりです。
両面印刷、ペーパーレスFax送受信、文書電子化(スキャンして保存)



新左山工場 電子ブレーカー設置(2010年2月)

- ・電子ブレーカーを取り付けることによって、電力会社との契約を「負荷設備契約」から「主開閉器契約」に変更できます。(稼働率が低ければ電気料金が下がります)
負荷設備契約: 動力設備の設備容量計が契約値です。
主開閉器契約: 設備容量に関係なく、実際に稼働する電流値を元にして契約値を算出します。
- ・低圧電気料金を、約50%削減することができました。



太陽光のグリーン電力証書購入(2010年4月～)

- ・太陽光のグリーン電力証書を購入することで、再生可能エネルギーの普及拡大を支援します。
- ・太陽光のグリーン電力証書とは、一般家庭の太陽光発電で発電した電力を
 - ・余剰電力: 環境価値込みで電力会社に売却
 - ・自家消費電力: 価値付けされないまま設置者が使用



この環境価値の部分を、「グリーン電力証書」として売買するシステムです。

- ・グリーン電力証書購入量: 2,800kWh (導入によるCO2削減量: 1,187kg)
※一般家庭の約280世帯が1日に使用する電力を、グリーン電力化したことに相当します。
- ・あいちカーボン・オフセット推進協議会ホームページ内、「株式会社 中西」の事例紹介
<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/taiki-ka/carbon-offset/jireilist/file/nakanishi-jirei.pdf>

本社 電力デマンド監視システムの導入(2010年5月)

- ・高圧受電設備に「電力デマンド監視システム」を導入しました。
- ・リアルタイム監視: 電力デマンド値(30分ごとの平均電力)を監視し
設定された目標電力を超過する前に警報で注意喚起します。
- ・警報が鳴った時は、事務所のエアコンで調整し、電力のピークカットをしています。



電子マニフェスト加入(2011年3月～)

- ・電子マニフェストに加入しているお客様のニーズに応えることが可能となりました。
- ・電子マニフェスト加入は、優良産業廃棄物処理業者認定制度の認定条件です。

過去の実組の特記事項②

プラスチック製容器包装選別環境の改善(2010年12月)

- ・新左山工場のプラスチック製容器包装選別コンベア延長工事(有効長を、3mから4.5mに延長)を行いました。
- ・選別エリアを広くすることで、無理な姿勢の防止、障がい者指導のしやすい環境作りができました。



障がい者が操作できるアルミ缶圧縮機の導入(2010年10月)

- ・アルミ缶圧縮機の老朽化に伴い、障がい者が操作できる圧縮機について、メーカーと議論を重ね導入しました。
- ・安全を第一に考えた構造にすると共に、表示を「ひらがな」にするなどの操作面での配慮も加えました。
- ・徹底した教育を行った結果、操作できる障がい者も増え、自信を持つことにつながりました。



チームで顧客満足にチャレンジ(2010年度、1年間の成果)

- ・市民の皆さまの資源持込みステーションでの、挨拶や荷下ろしのお手伝い、周辺の清掃について教育し2名チームで取り組むようにしました。
- ・下記の組み合わせで取り組み、成果を上げることができました。
面倒見の良いA君と自閉傾向のあるB君
→ 挨拶や荷下ろしのお手伝い
面倒見の良いA君と自閉傾向の強いC君
→ 周辺の清掃



表示札改善(2011年5月)

- ・表示札に具体的な方法も記載したほうが良いとの意見があり、追記しました。



選別品質・効率の向上(2011年8月)

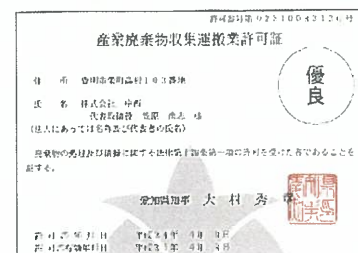
- ・新左山工場のプラスチック製容器包装選別ラインに小袋破袋機を導入しました。
- ・中身の取り出しを自動で行うことができ、障がい者による選別作業の品質・効率が向上しました。



優良産業廃処理業者の認定(2011年11月～)

- ・エコアクション21、情報公開、電子マニフェスト導入と順調に取り組を進め、優良産業廃処理業者の認定を受けることができました。
- ・愛知県 産業廃棄物処分業優良認定 平成23年11月11日
- ・愛知県 産業廃棄物収集運搬業優良認定 平成24年4月9日

※産廃ネットの記載事項に不備があった為、愛知県産業廃棄物処分業優良認定は平成30年9月4日、産業廃棄物収集運搬業優良認定は平成31年4月9日の更新時に優良認定ではなくなりました。



過去の実組の特記事項③

倉庫内配置改善(2012年2月～)

- ・プラスチック類処理工場の隣接地を買収し、倉庫内の配置改善を行いました。
- ・従来、圧縮後のペットボトルは、トラックを使って保管ヤードに運搬する必要がありましたが、上記により、リフトのみで移動可能になりました。
- ・安全確保、効率アップ、燃料使用量削減に効果があります。



データ管理の効率化(2012年3月)

- ・従来は、環境への負荷の自己チェックシート作成のため、年間で約100時間を費やしていました。
- ・仕入売上システム取り替えに合わせて、エコアクション21に必要なデータや集計の大半をシステムに取り込み、従来の約10分の1の時間で集計できるようになりました。

名称	0010 引取数量	0020 持込数量	0030 出荷(自社)数量	0040 出荷(引取)数量
I N 中間処理● 金属類(kg)※0缶除く	44,254	1,962	0	0
I N 中間処理● 一升ビン(本)※1kg/本	16,057	850	0	0
I N 中間処理● ビールビン(本)※0.7kg/本	7,666	44	0	0
I N 中間処理● 雑ビン(本)※0.6kg/本	3,239	9	0	0
I N 中間処理● 6P入(ケース)※6kg/ケース	304	0	0	0
I N 中間処理● カレット(kg)	269,473	280,993	0	0

職業能力開発(2011年度、1年間の成果)

積極的な配置転換と教育により、できる範囲を広げることができました。具体的には下記のとおりです。

- 小家電の解体・選別 ; 2名
- アルミ缶の選別・圧縮補助 ; 1名
- 鍋・フライパン等の異物除去 ; 1名
- プラスチック製容器包装選別 ; 1名



手洗い・うがい指導(2011年度、1年間の成果)

- ・健康管理の一環として、歯みがき指導を行いました。今では、6名が昼食後の歯磨きを習慣として頑張っています。
- ・また、水を流しっぱなしで、うがいや手洗いをしないよう毎月一回指導をしています。



太陽光発電設備設置、売電開始(2013年1月)

- ・経済産業省の認定を受け、太陽光発電設備を設置しました。
- ・発電出力 47.4kw
- ・太陽電池モジュール 252枚(1枚の寸法 1580×808mm)



過去の取組の特記事項④

職業能力開発(2012年度)

ペットボトル中間処理チーム内で、担当業務をローテーションできるよう教育し、できる仕事を増やすことができました。



空ける



畳む、片付け、清掃



異物除去やキャップ外し

工具整理と管理の徹底(2013年2月)

工具の片付けがうまくできなかつたり、紛失したりする状況が続いていたので、整理方法の見直しを行いました。
工具によっては持出者を書いてから使うなど、管理方法も工夫しています。



職業能力開発(2013年度)

積極的な配置転換と教育により、できる範囲を広げることができました。



圧縮品のばらけ防止ラップ巻き作業;2名



電気製品等の解体作業;1名

安全運転エコドライブ推進システム ECO-SAM導入(2013年4月)

毎日、対面で運転検証と指導をしています。

[運行軌跡]

[運転評価]

項目	評価点(数値)	ランク
全体	100.0 (4.6)	EX
波状運転	~40km/h 100.0 (4.1)	EX
指数	~60km/h 100.0 (6.2)	EX
	~80km/h — (—)	—
	80km/h~ — (—)	—
急加速回数	40.8 (0)	C
急減速回数	(2)	

[改善点:急加速・急減速]

- ・追突事故を防ぐために、車間距離を広くとるようにしてください
- ・黄色の点滅信号は青色ではありません。赤色の点滅側より車が進入してきます
- ・カーブや交差点の寸前で減速せず、早めの減速を心がける
- ・発進の時、アクセルを強く踏み込み過ぎないようにする
- ・焦っていると見落としや見誤りを引き起こしやすくなります
- ・出発時刻を遵守してください



稲作に挑戦(2013年度)

1.5反(450坪)から、690kgの美味しいお米が収穫できました！



過去の実績の特記事項⑤

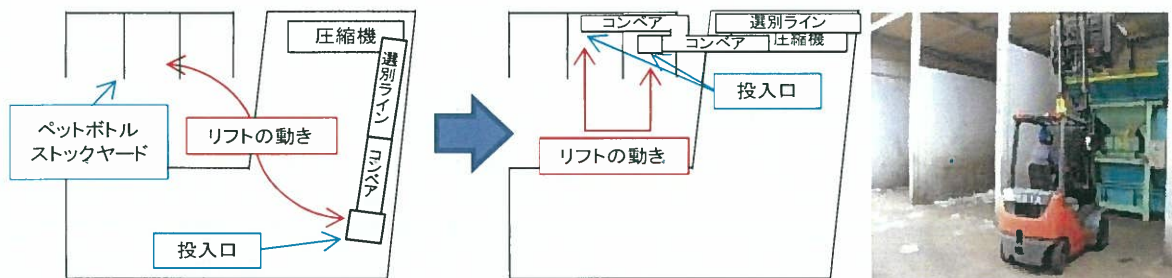
新規事業で地域貢献(2013年7月～)

高齢者が地元で快適に住み続けられることを願い、「お片付けサービス」を開始しました。



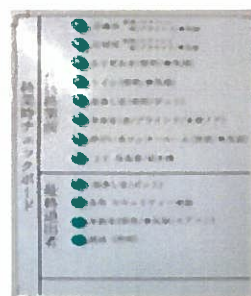
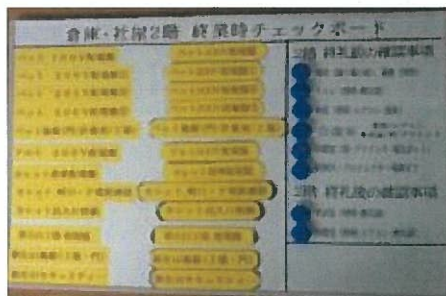
ペットボトル圧縮ライン改造(2013年8月)

スペースの有効活用、作業員の安全確保、リフト走行距離の短縮化のため下記のとおり改造しました。
リフト燃料が年間2200リットル減少しました！



電源オフのチェック方法の変更(2014年7月～)

終業時に電源オフにしたかどうかを、手書きからマグネットを用いたチェック方法に変更することにより、全員が一目で確認できるようになりました。



環境への負荷の数値集計の改善(2014年7月～)

仕入・売上管理システムや産業廃棄物の帳簿のデータを用いて自動集計するシステムを作りました。
これによって、環境への負荷の数値集計の時間を、50時間から10時間まで短縮することができました。

F 受託した産業廃棄物等の処理量

Excel出力					
表示欄	産業廃棄物の種類	年度	1Q	2Q	上期計
410 処理後 汚泥		2013	0	0	0
411 処理後 がれき 物		2013	0	0	0
412 処理後 汚泥		2013	0	0	0
499 再資源化等費小計		2013	2735250	2858064.58	5593314.58
599 中間処理後処分費小計		2013	2744360	2864764.58	5709124.58
1 収出 紙屑		2014	1580020	1400065	2980085
2 収出 金属		2014	208167	218028	426195
3 収出 ビン		2014	705491	687277	1392768
4 収出 プラ		2014	5321700	5074210	10395910
5 収出 その他		2014	681620	6247315	13065935
99 収出 廃棄物合計		2014	30055598	29431653	59487251
100 中間処理 金属		2014	1216485	131162	2628347
101 中間処理 ビン 再利用		2014	48123	45068	93191
102 中間処理 ビン 再生利用		2014	22670795	2272422	45395217
103 中間処理 プラ		2014	6621810	5500008	12121818

過去の取組の特記事項⑥

新配車システム導入(2015年3月～)

新配車システムを導入することにより、業務の時間管理や業務量、経験履歴を把握できるようになりました。

これによって、業務量の偏りが少なく安全な配車がしやすくなりました。

The screenshot displays a software interface for vehicle assignment. On the left, there is a calendar view for the month of March 2015, with dates 1 through 31. To the right of the calendar is a detailed list of assignments, including columns for date, time, location, and vehicle type. The interface is in Japanese and appears to be a web-based application.

片付けトントンサイト作成(2015年7月～)

片付け・不用品回収サービスの専用サイトを作りました。

動画やブログで片付けのコツや掃除のコツなどを面白おかしく紹介しています。

ぜひご覧下さい。

遺品整理士、住環境福祉コーディネーター、収納整理アドバイザー等、各種資格を持つスタッフが、お客様のニーズに合ったプランをご提案します。



片付けトントンを商標登録(2016年1月)

2016年1月15日、片付けトントンを商標登録しました。



コーポレートサイト全面リニューアル(2016年2月～)

資源のリサイクル・障がい者雇用・啓発活動などの取組を広くお客さまに知っていただくために、ホームページをリニューアルしました。収集運搬・中間処理に関する動画もご覧いただけます。

お客様のニーズに応じ、安全で速やかな収集運搬を行います。



集められた資源は選別スタッフにより分別されます。



過去の取組の特記事項⑦

第20回環境コミュニケーション大賞、環境活動レポート部門、優良賞受賞(2017年2月)

2016年4月発行の環境活動レポートが、第20回環境コミュニケーション大賞活動レポート部門で優良賞を受賞しました。



表彰式の写真



2016年4月発行
環境活動レポート



環境活動レポート部門
優良賞ロゴマーク

社外清掃活動(2016年10月～)

毎月2回、業務終了後に会社周辺の清掃活動を実施しています。



エコアクション21認証・登録10年継続(2017年度)

エコアクション21認証・登録10年継続を記念して、エコアクション21中央事務局様より感謝状と記念品をいただきました。



片付けトントンサイトにて、中性洗剤使用をPR(2017年度)

・片付けサービスでは、清掃作業時に環境負荷の少ない中性洗剤を使用することにより化学物質の削減に取り組んでいます。

・また、洗剤を使用する必要の無い汚れは水拭きするなどして洗剤使用の削減にも努めています。



過去の取組の特記事項⑧

廃プラスチック選別作業の改善(2018年11月～)

新左山工場の廃プラスチック選別ラインを2列に増やし、比重の軽いプラスチックと重いプラスチックをそれぞれ異なるラインで選別できるようになりました。

このことにより廃プラスチックの選別がしやすくなり、選別作業の効率が向上しました。



廃プラスチックベールのラップ巻き場にローラーを設置することで、ベールをスムーズに押し出せるようになり、作業時の負担を軽減させることができました。



表示札の改善(2018年度)

取組を更に意識してもらえよう、表示札に写真を添付しました。

